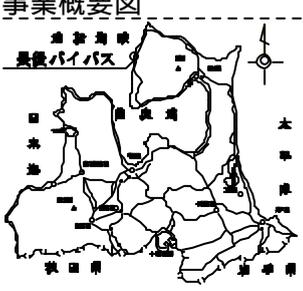
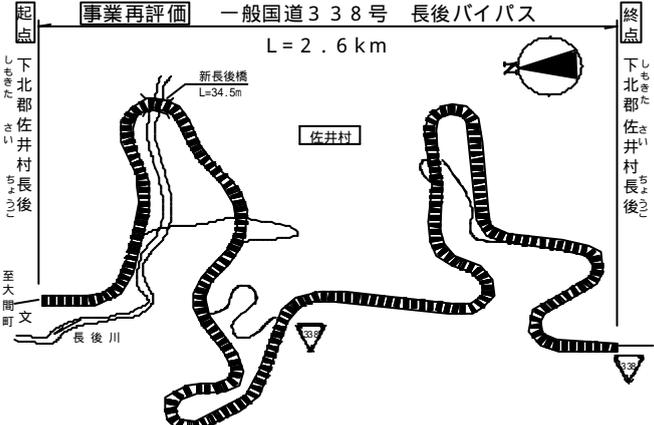


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道338号 長後バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	青森県								
起終点	自：青森県下北郡佐井村長後 至：青森県下北郡佐井村長後	延長	2.6 km										
事業概要													
一般国道338号は、北海道函館市を起点とし、青森県上北郡おいらせ町に至る延長約22.9kmの幹線道路である。長後バイパスは、幅員狭小、急カーブ、急勾配の連続する隘路区間を解消し、くわえて堆雪帯の設置により冬期間においても安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長2.6kmの2車線道路である。													
H1年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H1年度用地着手	H4年度工事着手										
全体事業費	32億円	事業進捗率	59%	供用済延長	0 km								
計画交通量	1,130台/日												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/36億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 39/39億円									
	(残事業)	事業費：17/33億円 維持管理費：3/3億円		基準年 平成17年									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">(残事業)</td> <td style="width: 25%;">2.0</td> <td style="width: 25%;">(残事業)</td> <td style="width: 25%;">39/39億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"> (走行時間短縮便益：32/32億円) (走行費用減少便益：7/7億円) (交通事故減少便益：1/1億円) </td> </tr> </table>						(残事業)	2.0	(残事業)	39/39億円			(走行時間短縮便益：32/32億円) (走行費用減少便益：7/7億円) (交通事故減少便益：1/1億円)	
(残事業)	2.0	(残事業)	39/39億円										
		(走行時間短縮便益：32/32億円) (走行費用減少便益：7/7億円) (交通事故減少便益：1/1億円)											
事業の効果等													
<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（牛滝漁港からの水産物輸送の利便性向上） ・個性ある地域の形成（主要な観光地である下北半島国定公園へのアクセスの向上） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画において第2次緊急輸送道路に位置づけあり） 													
関係する地方公共団体等の意見													
一般国道338号は、地域交流の促進、下北半島周遊観光の拡大等の重要な役割を果たすことが期待されており、地元市町村長等で構成する下北総合開発期成同盟会より、早期整備の要望（平成17年7月19日）を受けている。													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等													
新幹線八戸駅開業に伴う下北半島国定公園への観光の観点から、道路整備の必要性は高まっている。													
事業の進捗状況、残事業の内容等													
【執行済み額】事業費：19億円（進捗率59%）うち用地費：1億円（進捗率97%）													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等													
事業進捗に係わる問題はなく順調に事業を進めており、整備効果が早期に発現されるよう、今後も工事促進を図ることとしている。													
施設の構造や工法の変更等													
再生採石、再生合材を積極的に利用し、コスト縮減を図っている。													
対応方針 事業継続													
対応方針決定の理由													
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図													
													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">凡 例</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡 例	供用中		事業中		再評価箇所		うち供用中					
凡 例	供用中												
	事業中												
	再評価箇所												
	うち供用中												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。